

## 令和4年度第1回白井市地域公共交通活性化協議会

### <議事概要>

日 時：令和4年10月5日（水） 午後2時から4時30分まで

場 所：白井市役所東庁舎 1階 会議室 101

出席委員：山下英之会長、板谷和也副会長、野口和雄委員、檜山雅紀委員、中村啓介委員、山崎勝巳委員、島ノ江啓一委員、成田斉委員、杉山昌之委員、高山弘美委員、今井庄一郎委員、平田伸一委員（代理山口氏）、佐藤雅彦委員、宮下直也委員、宇田川清美委員、船本彩花委員、池内一成委員、鈴木智子委員、竹内崇委員、宗政隆雄委員（代理大友氏）  
20名（うち代理出席2名）

欠席委員：徳永敬委員、吉田英樹委員、市川美希委員、鈴木教之委員 4名

事務局：高石都市建設部長、小島都市計画課長、富澤主査、長谷川主任主事

傍聴者：5名

#### 1 開会

#### 2 委嘱状交付式

##### （1）委嘱状交付

新たに白井市地域公共交通活性化協議会の委員となる方へ笠井市長から委嘱状を交付した。

（任期：令和4年10月5日～令和7年10月4日）

##### （2）市長挨拶

- 本日は大変お忙しい中、ご出席くださりありがとうございます。
- また、皆様におかれましては、白井市地域公共交通活性化協議会の委員を引き受けていただきまして、重ねて感謝申し上げます。
- この会議は、白井市の未来の交通ネットワークを考えていくうえで非常に重要な会議であり、委員の皆様におかれましては、御指導、御協力の程よろしくお願いいたします。
- さて、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界に深刻な影響を与えております。
- また、ウクライナ情勢の影響を受け、原油価格の高騰、そして物価の高騰により公共交通が非常にダメージを受けていることは承知しております。
- しかしながら、公共交通は国民や市民の足として運行しなければならないと考えております。
- その公共交通を、地域や白井市でどう支えていくかが大きな課題の一つであると捉えております。
- この会議におきましては、平成30年に策定した白井市地域公共交通網形成計画に基づきまして、交通事業者や行政などが役割分担のうえ、持続可能な公共交通を維持するため、連携して取り組んでおります。
- 市としましても、昨年8月にコミュニティバスのルート及びダイヤ変更をいたしました。

- 鉄道や民間バス、タクシー事業者、そして市のコミュニティバスそれぞれの役割を確認しながら、お互いに補完しあい、市民にとって利便性の高い公共交通体系を目指したいと考えております。
- しかしながら、このコロナ禍の影響や原油価格の高騰により、交通事業者の皆さんが苦しい状況であるということは十分認識しております。
- このような中で、白井市として地域公共交通支援金を支給いたしました。
- 今後も、公共交通のために何ができるかを考えていきたいと思っております。
- 結びになります。皆様の持っている知見やネットワーク、そして利用者の視点で白井市の公共交通体系がより良いものになる事を期待しまして、私の挨拶とさせていただきます。
- どうかよろしくお願いいたします。

### (3) 委員紹介

各委員から自己紹介。

### (4) 事務局紹介

事務局職員を紹介。

## 3 令和4年度第1回白井市地域公共交通活性化協議会

[事務局報告事項]

- 出席委員は委員24名中、20名（内、代理出席2名）であり、白井市附属機関条例第6条第2項の規定による会議開催要件（委員の過半数が出席）を満たしているため、会議は成立しています。
- 本会議は、白井市審議会等の会議の公開に関する指針により、原則公開とするとともに、会議録等含め公開を予定しております。

## (1) 議題1 会長・副会長の選任について

### 【事務局】

- ・ 議題の進行につきましては、本来であれば規定により、会長が議長を務めることとなっておりますが、委嘱後第1回目の会議となり、議題1で会長を選任することとしており、会長の選任までは、仮議長により進めさせていただきますので、ご了承ください。
- ・ それでは、高石都市建設部長が仮議長を務めさせていただきます。

### 【仮議長】

- ・ それでは、会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。
- ・ 「議題1 会長、副会長の選任について」事務局からの説明をお願いします。

(事務局より、資料に基づき説明)

### 【仮議長】

- ・ ただいま事務局より説明がありました。
- ・ まず、会長の選任について、どなたか立候補又は御推挙される方はいらっしゃいますか。

### 【委員】

- ・ 先ほどご説明いただきましたとおり、この協議会は鉄道・バス・タクシー事業者、また関係各種団体や市民の代表等、様々な方が参加している協議会であると認識しています。
- ・ 当然それぞれのお立場があり、意見に偏りが生じることも考えられます。
- ・ そういったことから、公平中立的な立場である市職員で、更に市職員の統括的な立場である山下委員を推薦したいと思います。

### 【仮議長】

- ・ ただいま、山下委員の推薦がありました。
- ・ 委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

### 【仮議長】

- ・ それでは、委員は会長を引き受けていただけますでしょうか。

### 【委員】

- ・ 御推薦いただきましたので、会長職を務めさせていただきます。

【仮議長】

- それでは、委員の御了解もいただきましたので、会長には委員を選任することといたします。
- ここで、席の移動をさせていただきます。

【議長】

- ただいま会長に御選任いただきました山下です。
- 私は、この年度初めに副市長として白井市に着任いたしました。
- これまで、行政職員として様々な分野で仕事をしてまいりましたが、公共交通に関しては今まで経験がありませんが、この会議の進行に貢献できるよう、一生懸命取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【議長】

- それでは、会議の進行をさせていただきます。
- 続きまして、副会長の選任となります。議題 1 には副会長の選任も含まれております。
- 副会長の選任につきまして、どなたか立候補ですとか、御推挙される方はいらっしゃいますでしょうか。

【委員】

- 副会長については、今年 2 月に国土交通省が立ち上げた「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」という会議の有識者委員をお務めになったり、また白井市においても地域公共交通網形成計画の策定時から様々なご助言を頂いております、公共交通分野の専門家である板谷委員を推薦したいと思ひます。

【議長】

- ただいま板谷委員の副会長への御推薦を頂きました。
- 委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

【議長】

- では、委員におかれましては、副会長をお引き受けいただけますでしょうか。

【委員】

- 承知いたしました、どうぞよろしくお願ひいたします。

【議長】

- ありがとうございます。
- 従ひまして、板谷委員を副会長に選任いたします。

- それでは、副会長からご挨拶を頂きたいと思います。

【副会長】

- 最近では鉄道関係を主に取り組んでおり、地域の鉄道の問題等に取り組んでおります。
- 白井市には幸いにしてそのような状況にはなく、むしろこの値上げの時代に北総鉄道が値下げをしてくださり、これがまちづくりに良い影響があるのではないかと考えます。
- 今までと少し状況が変わってくる中で、地域の公共交通ネットワークについても前向きな見直しをしていながら進めていくと、まちづくりも更に良い方向に向かっていくのではないかと考えております。
- どうぞよろしくお願いいたします。

【議長】

- ありがとうございます。
- ここで換気のため、10分間の休憩といたします。

(休憩)

(2) 議題2 白井市地域公共交通網形成計画の計画期間の延長及び事業内容について

【議長】

- それでは再開いたします。
- 議題の2、白井市地域公共交通網形成計画の計画期間の延長及び事業内容について、事務局から説明をお願いします。

(事務局より、資料に基づき説明)

【議長】

- ただいま事務局から説明がございました。
- ここまでで不明点や確認したい点、また御意見等ございましたら、お受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

【委員】

- 1点目が計画期間のところ、おそらく白井市の総合計画の計画期間との整合を図るために計画を3年延伸していると思いますが、計画書中に一言その旨加えてはいかがでしょうか。
- 白井市では白井市都市マスタープラン等についても総合計画の計画期間と調整しているのですが、その理由を書かないとなぜ令和7年度までなのか疑問が湧いてしまいますので、説明の追加をお願いします。
- 2点目が、計画書中の年号の表記について、例えば元号を書いて括弧して西暦を書く等の統一をした方が良いと思います。

- 平成と令和が混在すると分かりづらいので、統一いただきたく思います。
- 3点目が、当初の計画策定時に気づけばよかったんですが、「1-1 計画の背景・目的」のところで、「持続可能なまち」という表現がありますが、「持続可能なまちづくり」ではないでしょうか。
- 「まち」と「まちづくり」では意味が異なります。
- とりわけ「まち全体の活性化を図り」という部分でも「まち」の定義が非常にあいまいであることから、都市全体あるいは白井市全体の活性化を図り、持続可能なまちづくりを実現するというような表記が通常なのではないかと思しますので、全体的に表記を一般的に使われている表現に統一するのが良いと思います。
- 4点目が、片仮名の言葉などについては市民の方にも分かりやすいように是非注釈を加えていただきたいと思います。
- その他1つ質問がありまして、白井市としてDX戦略をどう描いているかであって、運行状況に可視化が挙げられていますが、それ以外に白井市のDX戦略において交通分野がどう関わっているのか伺いたい。
- ただ計画期間が短い中で、何ができるかは難しいところですが、何か検討することやアイデアがあれば他の委員にも意見を聞きたいと思います。
- 交通分野のDXについては国も重点的に進めると言っているので、市として考えている事があればお伺いしたい。

#### 【議長】

- 事務局どうでしょうか。大きく5点質問がございましたが。

#### 【事務局】

- 1点目の市の総合計画の計画期間と整合を図る部分については、御意見のとおりと考えます。
- 2点目の元号表記につきましても、平成・令和と混在していることから、わかりやすく統一性を持った表現に直したいと思います。
- 3点目の「まち」と「まちづくり」についても改めて考えさせる御助言でしたので、今後検討させていただきたいと思います。
- 4点目の片仮名語やアルファベット表記などへの注釈についても、検討して取り入れていきたいと思います。
- 5点目のDXについて、事務局としてもどの分野でどのような事ができるのか情報不足であり、今後調査を進めたり、本会議において意見を頂ければと思います。

#### 【委員】

- 市として運行状況の可視化というのは、重要なDX戦略の一環だと考えています。
- 計画書にあえて書いたり、あえて書かなかったり等あると思いますが、皆さんの意見を聞ければと思います。

【議長】

- 運行状況の可視化については先ほど事務局の説明にもございました。

【事務局】

- バスロケーションシステムというのも一つのデジタル技術であると思います。
- バスロケーションシステムというのは地図上で後何分でバスが来るか、今どれくらい遅延しているのかに加え、例えば車内の乗降情報データを取得できるようなサービスもあります。
- そのあたりも含めて検討していければ可視化につながると考えております。
- それらのデータを集約することによって、次期計画策定の基礎データにもなっていくのではないかと考えているところです。

【副会長】

- 計画書に SDGs について記載されていますが、その中で「新たなモビリティサービスである MaaS の全国への普及を図り、」と記載されています。
- MaaS というのが、例えばスマートフォンなどのデジタルサービスを用いて、乗車チケットを買うだとか、電車に乗る、バスに乗る、自転車を借りる等をワンストップでできるようなことを目標としているサービスで、ヨーロッパなどでは導入されています。
- スマートフォン一つで自分の行きたいところに行け、一番便利な交通手段をすぐに調べられ、必要な運賃なども支払えるというようなサービスです。
- 日本でのスムーズな導入が進んでいるかということ、少し難しいところですが、私としては計画書に挙げずとも、少しずつ進めていけばいいと考えます。
- 比較的取り組みやすい内容というのが、今回の案でも強調しておられる運行状況の可視化で、例えば鉄道などは検索するとすぐに時刻表が出てきますが、バスの場合は比較的検索サイトにたどり着くのが大変だという現状があります。
- このあたりを少しずつ改善していけるよう、国でも取り組んでいます。
- 具体的には Google マップを開いて、そこでバス停を触ると、そのバス停から何時にどこ行きのバスが出発するか、そういうような整備を進めています。
- これらのことに対しても、各市の取組の中で、データの整備を改善することでそういうことがすぐできるようになりますので、そういった方向での改善と、実際にバスが動いている情報についても、GPS 等を活用して実現可能ですので、私としては計画案の書き方で差し支えないと考えます。
- ただ、しっかり計画の中で強調して書いてもらうことで、よりわかりやすくなる面もありますので、そのあたりは検討いただいてもいいと考えます。

【委員】

- その他意見ございますでしょうか。

【委員】

- 2つ意見がありまして、1つ目が案の15ページから16ページにあります、目標を達成するために実施する事業及び実施主体について、実施時期や実施エリアをできるだけ記載した方が望ましいと思います。
- 2つ目になりますが、19ページから21ページの計画の達成状況の評価について、令和4年1月に協議会において、計画の延長と延長に伴う新たな目標設定について御議論いただいていると思いますが、令和4年度が現計画の最終年度となっておりますので、各事業の進捗状況の評価していただき、見直しが必要な施策について検討等したうえで計画を延長されることが望ましいのではないかと考えます。

【議長】

- 事務局からいかがでしょうか。

【事務局】

- ありがとうございます。
- 本計画は令和4年度が最終年度となっており、延長するにあたってはこれまでの事業の評価は必要になってくると考えておりますので、中間評価という意味で事業を振り返って評価したいと考えております。
- 実施事業の時期と実施エリアについて、時期についてはそれぞれ必要だと思いますが、現計画の3年間の延長ということで、3年間の中でできるだけ事業を促進していきたいというのが事務局の意見です。
- 評価等については運輸支局さんと相談したいと考えております。

【議長】

- 他にございますでしょうか。

【委員】

- 先ほど MaaS についての意見がございましたが、当社ではデジタル 1 日乗車券を実施しており、単にスマートフォンの画面に券を表示するのではなく、時刻検索サイトと連携したものです。
- 例えば、ルートを検索することで、そこに 1 日乗車券が表示されるというようなサービスです。
- 使い勝手の面ではまだまだ発展途上ですが、例えば施設の登録などは足りていない状況ですし、例えば住所を入れればその施設が出てこないと使い勝手が悪くないと判断されてしまいます。
- そういった時刻検索サイトと連携してのサービスを実施しているものです。
- こういった DX というような新しい技術の導入にあたっては、やはりコストが重要になってきます。
- 様々な仕組みがございますが、コストを含め、最適なサービスを検討していくこととなると思います。

【議長】

- ありがとうございます。
- なかなか実情をお伺いできる機会もございませんので、参考とさせていただきます。
- その他ございますでしょうか。

【委員】

- いくつかお伺いしたいと思います。
- 計画案の令和5年2月の改訂ということで、本日の会議の意見を踏まえて、内容を修正されて本協議会に確認いただけたらと思いますが、パブリックコメントについて実施する予定かどうか確認させていただきたい。
- 今が10月で2月に改訂となると、スケジュールが非常に厳しいかと思いますが、当初計画を策定した際もパブリックコメントを行ったかどうか確認したいと思います。
- 3年間計画期間を延ばすということで、計画の策定ほど大きくはないにしても、市民生活に大きく影響がありますから、そのような手続き等について検討した方が良くはないかというのが意見です。
- 次に、資料の2の5ページになりますが、今回の3年間の延長は、コミュニティバスのルート、ダイヤ改正について議論を行い、ルート、ダイヤの改正を行った結果、延長するというような説明を事務局から受けましたが、一方で新型コロナウイルスの影響で電車もバスも利用者が大きく減少しており、これまで目標としていた人数が、コロナ禍の影響により推計が難しいという説明もありました。
- 本計画の目標年次が今年であることから、コミュニティバスのルート・ダイヤ改正を実施したことに加えて新型コロナウイルス感染症により市民の足に大変大きな影響を与えていることから、そのことに何も触れなくていいものかご検討いただきたいと思います。
- 3つ目ですが、計画を3年延ばした後に協議会で目標達成状況について合意形成を図るのであれば、今後の議決においての論点が不明瞭になるため、コロナ禍の影響で目標値の推計が難しいながらも、3年間延伸した先の目標は必要なのではないかと考えます。
- ただ3年間延ばすのではなく、3年間延ばした結果どのように計画が進んでいくのかを評価しないと、今回の計画案で記載されている事業の評価に繋がっていかないのではないかと考えます。
- まだ計画内容については調整があるかと思いますが、バスロケーションシステムについて計画案に記載がありますが、事務局の説明ではパソコン等の画面でバス等の接近情報を見れるようになるというようなことでした。
- 今後どのように具体化していくかについては検討するかと思いますが、バスロケーションシステムという言葉は非常に専門的な言葉で、なかなか市民に「バスロケーションシステム」と言っても伝わらないのではないかと考えます。
- 例えば千葉駅の周辺では、バス停において接近情報を提供しています。
- パソコン等の画面で確認できるということですが、パソコンを使える人には問題ないかもしれませんが、本当に生きた情報になるのかが懸念されます。

- その点についても、バスロケーションシステムを導入するにあたって、みえるだけでなく活用できるアイデアを出していただきたいと思います。
- 事務局の説明で公共交通のマップを作成しているとのことでしたが、例えばマップの中に QR コードのようなもので読み取ればスマートフォンで見られるような工夫も良いですし、高齢の方が集まるような施設にディスプレイを設置して、高齢者もバスロケーションシステムの情報に触れられるようなアイデアがあると良いと思います。
- 他にも、例えば白井駅と西白井駅にディスプレイなどを設置して表示するのも良いと思います。
- 今後の取り組み次第で色々アイデアが出てくると思いますが、ただデータを提供するだけでなく、利用者に使ってもらえるような情報提供の方策を御検討いただければと思います。
- その他の意見になりますが、資料 2 の 21 ページ、事業 6 に利便性の高い地域公共交通の環境整備ということで、主要なバス停におけるベンチの整備に加え、今回上屋の整備と記載があります。
- 現在、コミュニティバスも含めバス事業は新型コロナウイルス感染症の影響で非常に厳しい状況にあり、また燃料価格の高騰や働き方改革等により、バス業界は存続をかけたギリギリの状況で各社頑張っているところです。
- ですので、上屋を整備するという事になると、ものによっては事業費がかかってくる懸念があります。
- 費用のうち部分的に負担すると言っても、新たな投資をするのが難しい状況ですので、部分的な補助ではなく市全額負担や国等の補助を活用して御検討ください。
- 次に資料 2 の 20 ページ、事業の 4 の多様な運賃制度の導入検討について、今回「市内バス交通の統一運賃の検討」が削除になって、優先的に企画乗車券の検討を行う記載になっております。
- 企画乗車券については、バス事業者においても様々なものを実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中で実施することから、十分な時間をかけ、バス事業者と事前に調整していただきたいと思います。
- 企画乗車券を発行することで、よりバス利用が増えるというのであれば、是非御協力させていただきたいので、よく相談して進めていただければと思います。

【議長】

- ありがとうございました。
- 事務局からどうでしょうか。

【事務局】

- パブリックコメントについては、当初計画策定時に行っております。
- 今回の計画の改訂では、計画の趣旨は変わらず、内容についても大きく変わるものではないため、現時点でパブリックコメントの実施は考えておりません。

- バスロケーションシステムの事務局の考え方について、本市コミュニティバスの利用者から、バスの運行状況の問い合わせを多くいただいている状況で、問い合わせのたびに各バス事業者の確認の上、問い合わせを頂いた利用者に回答しておりますので、どうしてもリアルタイムで伝えられていないという課題がありますので、その解決に資するものと考えています。
- バスは道路事情により、必ずしも定刻までにバス停に到着しないことが多々あることについては、問い合わせがあった際に都度お伝えしているところですが、どうしてもバスの位置情報についての問い合わせがあるため、今回の計画案に盛り込んだものになります。

#### 【委員】

- 今の委員の御質問に関連して、事業の中身で、「環境の整備」や「ユニバーサルデザインタクシー車両の導入の推進」と書いてあり、行政計画であることから、主体は行政であると捉えていたのですが、民間事業者にお願いするのであれば「促進」と書くべきだと思います。
- ですので今回の「上屋の整備」というのは、文言から言えば行政が行うものだと理解していたのですが、先ほど委員から是非行政から補助を、というお話があったので、言葉の使い方を整理した方が良いと思うのですが、いかがでしょうか。
- 計画の主体を明確にする必要があって、更にこの計画書では「実施主体」という欄もあり、分かりづらいため整理されてはいかがでしょうか。

#### 【議長】

- 今の委員の意見を踏まえて、事務局いかがでしょうか。

#### 【事務局】

- 計画の改訂案に記載した「上屋の整備」について、具体的には駅前のロータリーにおけるコミュニティバスの上屋を想定しております。
- 現在、駅前のバス停に上屋がなく、不便であると捉えております。
- コミュニティバスの上屋であることから、市が整備するものと考えております。

#### 【委員】

- そうであれば、誤解のないように「主要なバス停の上屋」や「駅前のバス停の上屋」などの記載が良いのではないのでしょうか。

#### 【事務局】

- この計画を当初策定した白井市地域公共交通活性化協議会というのは、本計画を検討する主体でもあって、かつ事業主体でもある特殊な形態の組織です。
- 今お話のあった「バス停の上屋」について、通常はそのバスを運行している主体が整備するというのが基本的な考え方です。

- 市として今考えているのはコミュニティバスの上屋ですが、本計画は基本計画の性質と実施計画の性質が混在しており、通常であれば市はこの白井市地域公共交通網形成計画を市の交通施策に関するマスタープランであると考えておりますが、実際には実施計画的な内容が含まれております。
- 計画策定当初も、この記載の方法については検討を重ね、他市の事例等を研究しながら現行の表記としているところです。
- 今委員からの意見はまさにマスタープランというよりは実施計画的な話になるため、上屋の話のみ実施計画のような書き方をすると、逆にこの部分だけが全体から見て異質になってしまいますので、記載の仕方については検討させていただきたいと考えます。

#### 【事務局】

- 先ほどの回答の続きで、新型コロナウイルス感染症の影響について前段に記載すべきという意見について、貴見のとおりであると考えますので、記載について考えたいと思います。
- 目標の設定についても、難しい部分もありますが、考えていきたいと思います。
- 企画乗車券についても、バス事業者とよく相談しながら進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

#### 【委員】

- 2点ほど補足してお願い申し上げたいと思います。
- 1つ目、パブリックコメントを実施しないということで、本協議会においての議論は市民に公開されていると思いますので、協議会をもう一度開催して案を決定していく手続きを進めていただければと思います。
- 2つ目、目標の設定について、例えば現在の目標に100万人という数値があったとして、計画を3年延伸したからと言って100万人を越えなければならないということではないと思います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、現在の実績値が70万人だとして、3年間で努力して80万人にする、これは、元の目標の100万人に満たなかったため失敗というわけではなく、現状から少し良くなったという評価する手法もありますので、現状に即して生きた数値とするというのも一つご検討いただきたいと思います。

#### 【事務局】

- 現状を把握して、次にどこへ向かうかについて十分検討したいと思います。
- 先ほどの意見にあった協議会を開催して案を決定していくことについては、事前に委員の皆様にご訂正した案をお示ししたうえで、次回の会議において改訂について協議会の場で意見を頂ければと考えています。

#### 【議長】

- その他ございますでしょうか。

【委員】

- 先ほどの意見で上屋の話がありましたので、実情を参考としてお伝えします。
- 当社の西白井線について、老朽化した上屋や行灯型のバス停があり、新型コロナウイルス感染症の影響下でこれらの維持、保守について苦慮しております。
- 作るときは、これまでになかったものができて、便利になったと評価を頂きますが、それらをどう適切に管理していくか、その経費はどうするのかというも課題になってまいります。
- ですので、設置した後の管理等も念頭に入れて計画に位置付けていただきたいと思います。
- 次に、計画案の 1 ページ第 1 章についてですが、前回の会議において委員から SDGs に触れた方が良いのではないかという意見を反映して、今回の計画案に反映しているものと思います。もう少し公共交通を維持していくことによる環境面の記載を加えた方が良いと考えます。
- 計画書案 1 ページの中段にコミュニティバスの運行経費が年間 4,000 万円以上と市財政の大きな負担になっていると記載があり、コミュニティバスの維持費に焦点を当てられております。
- 一方で新型コロナウイルス感染症の影響で自動車学校が混雑したというような話も聞いていますが、自家用車が増えることによる社会的なコスト、例えば道路の整備や渋滞対策、アクセルとブレーキの踏み間違いによる事故等も懸念されます。
- 他にも CO2 の排出や有限資源であるガソリンの消費等の環境負荷も含めて、トータルで運行経費 4,000 万円というものをどう評価したらいいのかという考え方もあります。
- ですので、単に 4000 万円と記載してしまうと高い、安くした方が良い、という話になってしまいますが、一方で社会的なコストや環境負荷と比較して、公共交通は優れていると考えます。
- 今後、より公共交通を活性化していくという中で、社会的なコストや環境負荷にも着目していった方が良いと思いますので、例えば計画書の前段に触れた方が良いと思います。
- また、個別の話でいえば、資料 2 の 17 ページの事業 6 利便性の高い地域公共交通の環境整備について、ユニバーサルデザインタクシー車両についての記載がありますが、利便性に加え環境にやさしいバス車両の導入についても世の中の流れの中で既に始まっておりますので、織り込んで良いと思います。

【議長】

- ありがとうございます。ここで、換気のため休憩をはさみ、休憩後に事務局の回答から再開させていただきます。

(休憩)

【議長】

- それでは再開いたします。
- 事務局より回答をお願いします。

【事務局】

- 上屋の整備については、その後の維持管理が必要になりますので、既存の部分についてはご相談等頂ければと思います。
- 計画案の中の環境面に関する記載について取り入れては良いのではないかという意見について、SDGsの観点等もありますので、引き続き検討したいと思います。

【議長】

- その他、御意見等ございますでしょうか。

【副会長】

- これまでの議論を伺っていて感じたことなのですが、この計画では毎年評価をすることになっております。
- その評価が実質的になるように事務局にはご配慮いただきたいと思います。
- この計画というのが、これまでの議論にもありますように、そもそも市としての方針を示していて、市の公共交通がこうあるべき、という形を示しております。
- そのための具体的な実施計画については別途定めていくのが良いと感じました。
- 例えば上屋の件だけ見ると記載方法に検討の余地がありますが、駅前に作るというのであれば、本年度の実施計画の目標として先に示していただいて、その年度が終了した際もしくは翌年度に協議会において報告あるいは評価を行い、それを踏まえて次の年の実施計画を作っていく、というような形にして、やることを明確にして、実績をしっかりと検証していくように進めてもらえると、この計画がより実質的なものになるのではないかと思います。
- 計画というのは作ること自体が重視される一方で、計画が実際に行われているかどうかの評価についてはおざなりになりがちです。
- このあたりをしっかりと実施していただくことで、やや長期の異例の計画になりますが、実施していく形になると考えます。

【議長】

- 事務局いかがでしょうか。

【事務局】

- 実施計画のように年度ごとに事前に示して評価を行う等の御意見について、今後検討していきたいと思います。

【議長】

- やはり目標に対する評価については、複数の委員から共通して意見を頂いているところであり、不足があるというのが率直な認識です。
- 他に意見等ございますでしょうか。

(意見なし)

【議長】

- それでは、皆様からも大方の御意見を伺いました。
- 本日の議題の2につきましては、本日いただいた意見等を踏まえ整理をいたしまして、次回の協議会でもう一度ご審議を頂きまして、計画の改訂を行いたいと考えています。
- 進め方について御意見ございませんでしょうか。

(意見なし)

#### 4 その他

【議長】

- 異議がないようですので、そのように進めさせていただきます。
- 本日は活発な議論を頂きありがとうございました。
- それでは次第に沿いまして「その他」について、委員の皆様から何かございませんでしょうか。
- また、事務局から何かございますでしょうか。

【事務局】

- 本年度、白井市立第一小学校と第二小学校においてスクールバスの試験運行が開始されました。
- 現在のスクールバスの状況について、事務局で把握している範囲でお伝えします。
- スクールバスは、白井市立第一小学校と第二小学校の児童たちを送迎しております。
- 教育委員会からの報告では、2つの小学校をあわせ、9月の時点で98名が利用しております。
- 市のコミュニティバスや路線バスへの影響としては、これまでバス通学していた児童がいますので、利用しなくなったことによる減収が少なからずあると推察しています。
- 昨年度の第二小学校の児童が利用していた実績として、コミュニティバスには19名の児童が利用し通学しておりました。
- なお、教育委員会から、令和5年度も引き続き試行運行を続けていくと聞いております。
- コミュニティバスは、通学だけでなく通勤や普段の生活で利用されている方もいますので、当面は試行運行について注視していきたいと考えております。
- また、次回の会議については令和5年の1月下旬から2月頃を予定しております。
- 時期等の詳細については、改めて委員の皆様と日程調整させていただきたいと思っております。
- 次回会議では計画の改訂について御議論いただきたいと思いますので、御協力をお願いします。

【議長】

- 他に何かございますか。

【委員】

- 次回の会議において白井市地域公共交通網形成計画の改訂が決定するという事で、その場で内容を見て意見をすることは難しいので、事前に案をお示しいただいた方が有意義な会議になるかと思えます。
- 非常に忙しいとは思いますが、大事な計画を良いものにするために、是非ご検討くださいますようお願いいたします。

【議長】

- 事務局いかがですか。

【事務局】

- 事前に資料を提供したいと思いますので、御協力をお願いします。

【議長】

- 他にございませんでしょうか。

(意見なし)

## 5 閉会

【議長】

- 以上を持ちまして、令和4年度第1回白井市地域公共交通活性化協議会を閉会します。皆様ありがとうございました。